

會 告

第 二 回 工 學 會 大 會

來る昭和七年四月五日より九日まで東京市に於て第二回工學會大會を開催する事に決定されました日程概要下記の通り

4月5日(火) 工學大會 晚餐會 (東大大講堂) (上野精養軒)	4月6日(水) } 部會 (夜) 國產展覽會 4月7日(木) } 無線放送
日本鐵鋼協會代表講演 本邦製鐵事業の今日と將來	4月8日(金) } 見學 (夜) 通俗講演會 4月9日(土) }
日本鐵鋼協會前會長 工學博士 今泉嘉一郎君	

日本鐵鋼協會第八回講演大會順序

(第二回工學會大會部會)

第一日 四月六日 水曜日 午前九時開會
會 場 東京帝國大學文學部第二十九號 教室
開會の辭 日本鐵鋼協會々長工學博士 俵 國 一君
講演會 午 前 の 部

- 1) 高爐用骸炭製造の一考察 9.00—9.20
製鐵所化工部骸炭課技師 工學士 伊 能 泰 治君
- 2) 八幡製鐵所洞岡第一鑄鐵爐内形の決定に就いて 9.25—9.45
八幡製鐵所銑鐵部々員 工學士 山 岡 武君
江 口 貞 吉君
- 3) 一酸化炭素、炭酸瓦斯及窒素混合瓦斯に由る鐵鑄石還元實驗 9.50—10.10
東北帝國大學工學部金屬工學科 工學士 石 部 功君
工學士 平 野 昇君
- 4) 八幡製鐵所に於ける鑄鐵爐瓦斯、骸炭爐瓦斯、發生爐瓦斯使用上に於ける被害豫防法に就いて 10.15—10.35
製鐵所醫務部衛生課 藥劑士 氏 岡 正 行君
- (10分休憩)
- 5) 鹽基性平爐改造の經過と其の成績に就いて 10.45—11.05
川崎造船所製板工場製鋼課長 工學士 西 山 彌 太 郎君
- 6) 高周波誘導電氣爐の研究(第1報) 15 K.V.A. 靜止型變流裝置使用高周波誘導電氣爐に就て 11.10—11.30
株式會社芝浦製作所 中 村 素君
- 7) 電解製鐵の研究(第2報) 11.35—11.55
日本電解製鐵所技師 工學士 花 岡 元 吉君

書 食

社團法人 日本鐵鋼協會第十七回通常總會順序

會 場 東京市本郷區本富士町一番地 東京帝國大學文學部第二十九號 教室
時 日 昭和七年四月六日 午後一時開會
接 拶 社團法人日本鐵鋼協會 理事、會長 工學博士 俵 國 一君
1、議 事 イ、昭和六年度會務報告 ロ、昭和六年度收支決算報告 ハ、昭和七年度收支豫算に關する件 ニ、任期滿了役員會長、理事、評議員半數改選(投票、開票)

1. 服部賞牌並服部賞金贈呈式

- 講演會 午 後 の 部 午後二時開會
- 8) 本邦に使用せらるる鑄物砂及其原料 2.00—2.20
廣海軍工廠造機部々員 海軍造機少佐 工學士 武 智 馨君
 - 9) 鋼鑄物製造に於ける經濟的考慮 2.25—2.45
株式會社日本鑄鋼所技師 市 川 直 雄君

- 10) 過熱蒸汽中に於ける鑄鐵の成長 2.50—3.10
三菱造船株式會社技師 工學士 佐々木 新太郎君
- 11) 灣曲作用を受ける鑄鐵梁の理論及實驗的考察 3.15—3.35
横濱船渠株式會社技師 工學士 藤井 忠 二君
- (10分休憩)
- 12) 鍊鐵製錨鎖の缺陷と新強力錨鎖に就て 3.45—4.05
吳海軍工廠製鋼部員海軍造兵少佐 工學博士 佐々川 清君
- 13) 航空機用薄肉鋼管材としてのクロム、モリブデン鋼に就て 4.10—4.30
住友伸鋼鋼管株式會社技師 理學士 絹川 武良 司君
- 14) 鋼の燒戻脆性に就いて 4.35—4.55
日本特殊鋼合資會社技師 永 澤 清君

晩 餐 會

午後六時より東京帝國大學構内に於て

第二日 四月七日 木曜日

午前九時開會
午前の部分

- 15) 鐵線の青熱脆性 9.00—9.20
三菱航空機株式會社技師 理學士 須 永 信 二君
- 16) 異なる製鋼法に依る鋼の衝擊値と組織の關係 9.25—9.45
株式會社安來製鋼所技師 工學士 石 垣 豐 造君
- 17) 數種の特殊鋼の衝擊試験に於ける力—歪曲線及其の實用的價值 9.50—10.10
海軍技術研究所々員 海軍技師 工學士 室 井 嘉 治 馬君
- 18) 金屬の疲労に就て 10.15—10.35
陸軍科學研究所々員 工學士 茂 木 吉 治君
- (10分休憩)
- 19) 特殊鋼の分離抗張力(Trennungfestigkeit)と疲労による耐久力に就いて 10.45—11.05
陸軍航空本部々員 陸軍砲兵大尉 工學士 高 瀬 孝 次君
- 20) 金屬並に合金の折れ口(Fracture)型式に就て 11.10—11.30
三菱造船株式會社研究所 工學博士 飯 高 一 郎君
- 21) コバルトを主金屬とする耐熱合金の研究 11.35—11.55
東京高等工藝學校教授 橋 本 宇 一君

書 食

- 22) 窒化鐵の研究 1.00—1.20
三菱造船研究所々員 理學士 佐 藤 俊 一君
- 23) 窒素硬化用鋼の炭素量と窒素硬化 1.25—1.45
三菱航空機株式會社名古屋製作所 工學博士 石 澤 命 知君
- 24) 内外國製高速度鋼の切削試験に就いて 1.50—2.10
陸軍造兵廠大阪工廠鐵材製造所々長 陸軍砲兵中佐 工學士 杉 本 正 邦君
- 25) 強磁石鋼の研究 2.15—2.35
東京帝國大學助教授 工學博士 三 島 德 七君
- (10分休憩)
- 26) 燒入鋼の時効に就て 2.45—3.05
東京工業大學 工學士 横 山 均 次君
- 27) 高溫度に於ける金屬の酸化速度に就いて 3.10—3.25
三菱造船株式會社研究所 理學博士 深 川 庫 造君
- 28) 特殊鋼の變態點と自硬性 3.30—3.50
東北帝國大學教授 理學博士 村 上 武 次 郎君
工學士 田 名 部 繁君
- (10分休憩)
- 29) コバルト、ニッケル、クロム三元平衡狀態圖並に二、三の物理的性質に就いて 4.00—4.20
東北帝國大學金屬材料研究所 工學士 松 永 陽 之 助君
- 30) アルミニウム、銅、硅素、三元合金の狀態圖 4.25—4.45
吳海軍工廠製鋼部々員 海軍造兵少佐 工學士 松 山 寛 慈君
- 31) アルミニウムを主成分とせるアルミニウム、鐵、硅素系に就て 4.50—5.10
京都帝國大學教授 工學博士 西 村 秀 雄君

閉 會 の 辭 日本鐵鋼協會々長 工學博士 俵 國 一君

閉 會 午 後 五 時 十 五 分